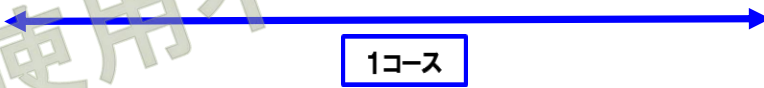


中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】M-05

申請日	2025/10/7	承認日	2025/10/17	委員長	印
レジメン登録	2025/10/23	仮承認日		承認者	印

Datoro-DXd	病名	乳癌	外科	提出医	Dr
対象	手術不能または再発乳癌に対して化学療法歴のあるホルモン受容体陽性かつHER2陰性の乳癌患者				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div, iv, po等	投与スケジュール (日)											
ダトロウェイ (ダトボタマブ デルクステカン)	6mg/kg	div	○											
投与間隔・休薬期間等：21日=1コース														

【投与処方例（前投薬など）】

- ※間質性肺疾患対応フローチャートに沿って、ILD疑い時より対応をすること。
- ※開始前にはCT、レントゲン、血液検査(KL-6を含む)、心エコー、心電図を施行すること。
- ※ダトロウェイは泡立つため、ボトルは振らないこと
- ※ダトロウェイはインラインフィルターを使用
- ※ダトロウェイの調製済みボトルは遮光し、投与を行う。

カロナール500mg 1錠(ダトロウェイ投与30分前に内服)

① メインキープ【緑】 5%ブドウ糖液250mL /div

- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋アロカリス1V＋パロノセトロン1V＋デキサート9.9mg＋ポララミン5mg / div30分
- ③ 【コネクタ1】 ファモチジン注20mg 1A /iv 5分
- ④ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液100mL /div 15分
- ⑤ メイン【白】 5%ブドウ糖液100mL＋ダトロウェイ＋注射用水(溶解用) /div 初回90分、2回目以降30分可
ダトロウェイ1Vを注射用水5mLで溶解し、使用。
終了後、メインの5%ブドウ糖液を流してフラッシュをすること。

【副作用によるDatopotamab Deruxtecan減量基準】

間質性肺疾患G1は完全に回復するまで中止。休薬期間が28日以内は同量で再開、28日を越える場合は1段階減量
角膜炎G2、口内炎G2の場合、G1に回復するまで休薬し、同量で再開。

角膜炎G3の場合、G1に回復するまで休薬し、1段階減量で再開。

口内炎G3の場合、G1に回復するまで休薬し、同量または1段階減量で再開。

好中球減少・白血球減少・貧血G3の場合、G2以下に回復するまで休薬し、同量での再開。

好中球減少・白血球減少・貧血G4の場合、G2以下に回復するまで休薬し、同量または1段階減量で再開。

血小板減少G3の場合、G1以下に回復するまで休薬し、同量または1段階減量で再開。

血小板減少G4の場合、G1以下に回復するまで休薬し、1段階減量で再開。

通常投与量：6mg/kg

1段階減量：4mg/kg

2段階減量：3mg/kg

3段階減量：投与を中止する

【検査等確認事項】

肺に及ぼす影響 治療開始前にCT、レントゲン、血液検査(KL-6を含む)を実施

目に及ぼす影響

治療開始前より角膜障害の予防のために、OTCのソフトサンティアもしくは
なみだロートファイブを購入し、1日6回点眼を行う。

※ヒアルロン酸Naなどの粘稠性のある点眼液は使用を中止すること。

また、治療開始前に眼科で薬を要確認。薬がある場合には、紹介状にて
ヒアルロン酸Naの点眼は中止する旨をお願いすること。

コンタクトレンズの使用は禁止すること。

【注意すること】

口内炎が起きるため、ダロトウェイ投与中はクライオセラピーを行う。

患者に、売店でアイスを購入し、ダロトウェイ投与中に数回にわけ食べて口腔内を冷やす。

また、口内炎予防のために、口腔ケアの実施を行う。

（治療開始前には歯科口腔外科でのケアと治療期間中は自身で歯磨き・うがいの励行）

本レジメン開始前に心エコー・心電図検査を実施

参考資料 ダロトウェイ適正使用ガイド

Aditaya Bardia, et al. : J Clin Oncol 43: 285-296